

令和4年12月2日

人吉市議会議長 西 信八郎 様

厚生委員会委員長 高瀬 堅一

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

開催日時	令和4年11月22日（火）午後1時30分～午後3時00分
会 場	人吉市カルチャーパレス2階会議室
出席議員	【委員長】 高瀬堅一（統括・座長） 【副委員長】 本村令斗（司会者） 【委員】 井上光浩、平田清吉、池田芳隆、徳川禎郁（記録者）
団体名	人吉市老人クラブ連合会
参加人数	8名
テーマ	持続可能な人吉市老人クラブ連合会のあり方について（会員増強）
意見交換会の概要	初めに、小川政治人吉市老人クラブ連合会会長、高瀬厚生委員会委員長が挨拶を行った。 その後、意見交換へと移り、老人クラブ連合会会長から人吉市老人クラブ連合会の今年度の近況報告が行われ、その中で、三倉副会長が厚生労働大臣表彰を受賞された旨の報告があった。 その後、「持続可能な人吉市老人クラブ連合会のあり方について（会員増強）」の中で、人吉市老人クラブ連合会クラブ数及び会員数の推移について、また、校区別クラブ数及び会員数の推移についての説明を受けた。 説明の中で、「人吉市の老人クラブ連合会のクラブ数が激減している」「役をしたがらない」「役をしなくて良いなら入会するという声が多い」「70才代まで現役で仕事をしている方が増えていることも会員数の増員に繋がらない原因」などの現状報告を受けた。 また、三倉副会長より、持続可能な市老連のために「環境資源の有効な活用」について、カルチャーパレスは会議室の使用料について減免の

	制度など、使いやすい施設への要望があった。また、自主講座の開催や、ゆるりんセンターのような高齢者の居場所が必要だという意見があった。 議員から「こども王国保安官」と学校との連携はとれているのか。との質問に対し、老人クラブ連合から「学校から丁寧な連絡があっている」「西瀬小では毎月学校で老人会と会議をしている」との説明があった。次に議員から「福祉バスの利活用、有効活用が必要ではないか」との質問に対し、「高齢化が進みカルチャーパレスまで運転してくることに抵抗があるという意見がある。使いやすいバス等があると助かる」「運転免許を返納された方が増え、カルチャーパレスまで来ることができない」との意見があった。 次に、議員から「ゆるりんバス、老人福祉センターが無くなり、囲碁等の趣味の講座にいられていた方々の現状は」との質問に対し「認知症になる方が一気に増えた」「福祉バスの必要性」「バスなどの環境整備をすることで、医療費や介護費が減ると思われる」などの意見があった。 次に、議員から「水害後に休会となった老人クラブは」との問いに、「紺屋町は住民が居なくなり休会、五日町は役員のなり手が無く休会、中原校区、東校区ともに、半数ほどの休会がある」との説明があった。 その他、議員から、ミニサロンへの参加状況や、老人クラブ活動に対して保険を掛ける等の活動しやすい環境にすることも必要ではとの意見があり、老人クラブ連合会からは、グラウンドゴルフへも高齢化により車で行くことが難しい方が増えてきた。ここでも福祉バスの必要性が重要であるとの意見があり、また、老人福祉センターの復活についても要望があった。 最後に委員長から、交通手段などの行政の後押しが重要であること、老人福祉センターの今後についても同様に引き続き執行部へ伝えていきたい。との発言があった。 今後もこのような意見交換の場を持っていくことを確認して閉会した。
--	--